

## ■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当 毎年3月31日
	中間配当 毎年9月30日（中間配当を実施する場合）

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号

事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先） 〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先） ☎0120-176-417

（インターネットホームページURL） <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公 告 方 法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。

URL <http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html>

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所

## 株主様ご優待のご案内

3月31日現在、100株以上保有の株主様に下記のご優待をご用意しております。同封のカタログ「めぐり旅」より好きなものをお選びいただけます。詳細につきましては、カタログをご覧ください。

- 100株以上  
3,000円相当の地方特産品  
(カタログより選択)



- 500株以上  
5,000円相当の地方特産品  
(カタログより選択)



- 同封の専用ハガキにてお申込みください。

お申込み締切日 平成21年8月31日（当日消印有効）

- 株主ご優待に関するお問い合わせ先（6月26日より開設）  
株主様優待事務局 TEL：0120-156-533

[マースジャーナル]

## 第35期 年次報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



# MARS Journal



株式会社 マースエンジニアリング

〒160-8420 東京都新宿区新宿1-10-7

TEL. 03-3352-8555 (代)

URL： <http://www.mars-eng.co.jp>



地球環境に配慮した大豆油  
インキを使用しています

株式会社 マースエンジニアリング

## パーソナルPCシステムの市場シェア10%の獲得を目指します。

株主の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。当社の事業活動につきましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるパチンコ業界は、依然として厳しい環境にあり、パチンコホールの倒産や廃業が相次ぐ中、少額で遊技ができる低貸玉営業の実施や、集客性の高い遊技機の導入により、業績が改善するパチンコホールも見受けられるようになりました。

そのような状況の中で、当社グループは開発型企業グループとして、顧客ニーズを取り入れた独創的なアイデアと確固たる技術を持って魅力ある製品の開発に注力してまいりました。

空気で紙幣を運ぶ世界初の技術を採用したAir紙幣搬送システムは大きな話題を呼び、パチンコホールへの本格的な導入が始まりました。

また、玉積み演出が主流の当業界において、少人数で効率良くホール運営ができるパーソナルPCシステムは、多岐にわたる顧客ニーズに対応するため、パーソナルⅢを新たに発売し、ラインナップの拡充を図りました。パーソナルの導入（実稼働）店舗が大幅に増加し、3月末現在で309店舗（市場シェア3%）となったことは、業界内でパーソナルが受け入れられ、認知されたものと考えております。

パーソナルの市場シェア10%の獲得を新たな目標に掲げ、早期に達成するべく、ブランド力の向上を促しつつ、販売に注力してまいります。

株主の皆様には、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 松波 明宏

## 当連結会計年度の業績

当連結会計年度の業績は、売上高288億93百万円（前期比11.1%増）、営業利益は74億2百万円（同42.7%増）、経常利益は75億97百万円（同41.2%増）、当期純利益は43億19百万円（同36.5%増）となりました。

### [アミューズメント関連事業部門] [プライベートカードシステム]

この分野の主軸であるパーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）は、大手パチンコホールチェーンをはじめとして全国有数のパチンコホールで採用されるなど、業界内で認知が進んだ背景に加え、昨年10月には「パーソナルⅢ」を新たにラインナップに加えて顧客ニーズに合ったきめ細かい提案販売を行ってまいりました。

この結果、パーソナルの売上実績は229店舗と前期実績70店舗を大きく上回り、発売以来の累計導入（実稼働）店舗数は当連結会計年度末時点で309店舗となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は298店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,930店舗（市場シェア18.9%）となり、当システムの個別売上高は141億86百万円となりました。

### [景品管理システム]

景品管理システムは、当社ユーザーを中心とした提案販売を行ってまいりました結果、当システムの個別売上高は31億88百万円となりました。

### [RFID]

健診センター向けシステムを本格的に拡販し、中小施設から大規模施設に納品し、順調に稼働しております。また、「プリンタ内蔵タッチパネル付きRFID対応マルチ機能端末」を新規に開発し、大型施設にポイント管理端末として納品・稼働いたしました。更に、入退出システムやゲーム機器向けの認証システムにつきましては引き続き、安定的に販売してまいりました。この結果、RFIDの個別売上高は、9億95百万円となりました。

その他品目の個別売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業部門の個別売上高は283億3百万円（同11.3%増）となりました。

### [その他事業部門]

主としてホテル事業を行うその他事業部門におきましては、立地の良さやサービスの質の高さが評価され、また内装をリニューアルした効果もあり、高稼働を維持することができました。この結果、その他事業部門の個別売上高は5億89百万円（同0.9%減）となりました。

## 次期の見通し

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界は金融機関からの融資が受け難く、今後もパチンコホールの経営環境は厳しい状況が続くものと予想される一方、新たな遊技ファンの獲得に向けた低貸玉営業による収益改善を図るパチンコホールも増加しており、二極化が一層明確になっていくものと予想されます。

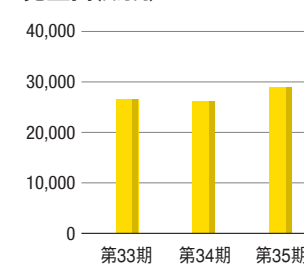
このような状況の中で、当社グループは開発、製造、販売、メンテナンスを一貫体制で行い、コストの低減に努めるとともに、顧客ニーズを先取りした製品の開発を積極的に進め、周辺設備への更新需要の掘り起こしを行ってまいります。

パーソナルにおきましては、高まる認知度とブランド力を背景に業界標準化を目指して導入店舗の拡大に努めてまいります。

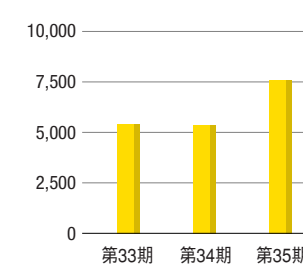
また、RFIDにおきましては、特に前期に納入した健診センター向けシステム及びポイント管理端末の拡販に力を注ぐとともに、実績のあるシステムを安定的に販売いたします。また、新たな需要を発掘し、グループ内でのハードウェア・ソフトウェア技術を結集して新規商材を開発し、将来の事業の柱へと成長させていくことを目指してまいります。

以上により、次期の連結会計年度の業績は、売上高318億19百万円（前期比10.1%増）、営業利益78億38百万円（同5.9%増）、経常利益79億53百万円（同4.7%増）、当期純利益47億3百万円（同8.9%増）を見込んでおります。

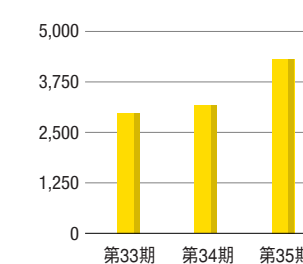
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



当期純利益(百万円)



### 3タイプのパーソナルPCシステムで市場シェア拡大中

パーソナルPCシステム(以下、「パーソナル」という。)は、平成18年に販売を開始して以来、積極的な提案販売を展開していくのとともに、顧客ニーズを取り入れた新製品の開発を行い、ラインナップの拡充を図ってまいりました。

「PERSONAL(パーソナル)Ⅰ」は、高セキュリティで手元の玉箱に玉を貯めることができる最上位モデルとして販売を行ってきました。

「PERSONAL(パーソナル)Ⅱ」は設置が容易でコストパフォーマンスに優れたモデルとして当連結会計年度より本格的に販売を開始しました。

昨年10月に販売開始した「PERSONAL(パーソナル)Ⅲ」は、パーソナルⅡの利点と手元の玉箱に玉を貯めることができるパーソナルⅠの利点を活かしたモデルとして、新たにパーソナルのラインナップに加わりました。

きめ細かい顧客ニーズに対応した3タイプのパーソナルは市場で受け入れられ、パーソナルの市場シェアは拡大し続けています。

#### PERSONAL Ⅰ



#### PERSONAL Ⅰの特徴

- シリーズ最速の高速計数が可能
- 玉箱に約1500玉を貯留可能

※レバー操作により任意に計数の開始と停止が可能です。

#### PERSONAL Ⅱ



#### PERSONAL Ⅱの特徴

- 既存島への設置が容易
- 出玉を即座に計数

#### PERSONAL Ⅲ

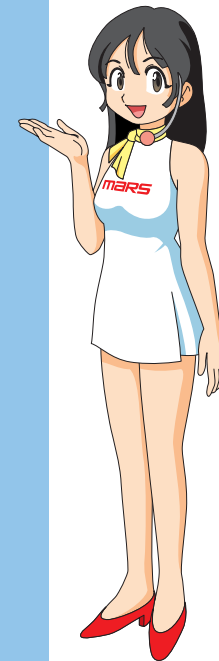


#### PERSONAL Ⅲの特徴

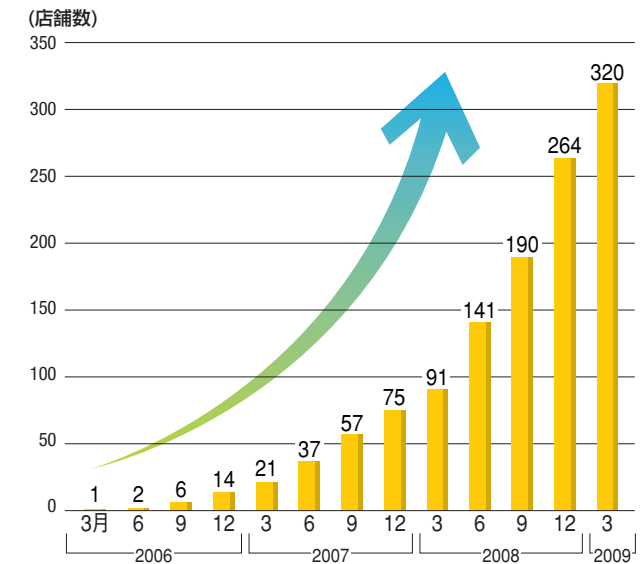
- 既存島への設置が容易
- スクリュー機構により高速計数
- 玉箱に約1200玉を貯留可能

※レバー操作により任意に計数の開始と停止が可能です。

## パーソナルPCシステム 全国の店舗に続々導入!



● パーソナルPCシステムの売上店舗数(累計)



パーソナルPCシステムを導入することで遊技ファンは利便性が向上し、質の高いサービスを受けることができます。ホール従業員は玉箱積み・玉箱運び業務から解放され、労働環境が改善します。ホール経営者は優秀な人材の確保や他店との差別化を図ることができます。

多くの方にメリットのあるパーソナルPCシステムは、全国各地のパチンコホールに支持され、導入軒数は増加しています。



パーソナルPCシステムが全国各地に続々と導入されています。

[広島県安芸郡]  
ジェビケ様

広島市の中心街から車で約5分の場所に位置する「ジェビケ(JBK)」様。「広島が初体験する新世代のアミューズメント」をテーマに店名も装いも一新、リニューアルオープンしました。

どこよりも早く新しいことを考え、お客様に楽しんでもらえることは何かを常に研究しているジェビケ様では、1階を禁煙フロア、2階を喫煙フロアと完全分煙化を図り快適な空間を提供。パーソナルシステムと併せて質の高いサービスを実現し、誰もが楽しめるアミューズメントスペースとしてお客様から好評を博しています。



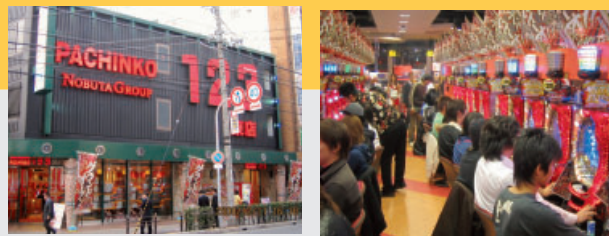
ジェビケ様のコメント

今回、パーソナルの導入に併せてコンシェルジュ(案内係)を採用し、お客様からの様々なご要望にお応えするだけでなく、ホール内の細かなところにも気を配ることができるようになりました。  
他の接客業に負けないような、お客様に「快適」と感じていただける高品質のサービスを提供しています。

[大阪府八尾市]  
八尾123東店様

大阪を中心に関西地方で50店舗以上を展開している業界大手チェーンの「NOBUTA GROUP」様。近鉄八尾駅周辺地区に集結する同系列5店舗のうち、「八尾123東店」様は、地域に密着した経営で地元の遊技ファンも多く、そのニーズや周辺の動向を考慮して、今回スロット専門店からパチンコ専門店にリニューアルオープンいたしました。

リニューアルを機に採用していただきましたパーソナルIIは系列店初、八尾地区初の導入となり、注目を浴びています。



八尾123東店様のコメント

当グループはエンターテインメントというカタチのないサービスの本质を見出し、人を心地よく、時には感動を与えられるようなサービスをお届けしたいと考えています。  
パーソナルの導入によってドル箱の上げ降ろし作業がなくなった分、お客様へ他店舗以上の充実したサービスを提供してまいります。

株式会社ウインテック

当社は電子機器及び情報機器の設計・製造・販売、並びにメカトロニクス関連の技術指導を行っています。平成12年にマースエンジニアリングの関係会社(現在は連結子会社)となって以来、マースグループのキーパーツとなる新製品の開発を担っています。

主な開発製品には、紙幣識別機、Air紙幣搬送システム、ICカード/コイン及び磁気カードリーダライタなどがあります。

会社概要 (平成21年3月31日現在)

- 商号 株式会社ウインテック  
本社所在地 長野県埴科郡坂城町大字中之条1375番地1  
設立年月日 平成7年4月5日  
会社の目的
1. マイクロコンピュータ応用電気機器の開発、製造、販売
  2. 一般廃棄物圧縮処理機器の開発、製造、販売
  3. 工作機械の設計、製造、販売
  4. 電子機器用部品の製造、販売
  5. プラスチック製機械部品の製造、販売及び輸出入
  6. 航空機・同部品の開発、製造、販売
  7. 前各号に附帯する一切の事業

資本金 1億750万円

就業者数 46名



ウインテック本社



ウインテックの主な製品ラインナップ

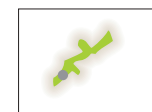
Air紙幣搬送システムも開発

長い歳月をかけて開発したAir紙幣搬送システムは空気気体のみを利用した世界初のシステムであり、紙幣識別後にあらゆる場所へ紙幣を搬送します。



- **本社**  
東京都新宿区新宿1-10-7
- **札幌営業所**  
札幌市白石区南郷通8丁目北2-25  
第3タチカビル
- **仙台営業所**  
仙台市青葉区大町1-3-7 横山ビル
- **大宮営業所**  
さいたま市中央区新中里5-11-6
- **千葉営業所**  
千葉市稲毛区小仲台2-3-12  
こみなと稲毛ビル
- **東京営業所**  
東京都新宿区新宿1-11-16  
サンサーラ第五御苑ビル
- **西東京営業所**  
府中市栄町3-1-1
- **横浜営業所**  
横浜市保土ヶ谷区神戸町134  
YBPウエストタワー
- **静岡営業所**  
静岡市葵区黒金町59-7  
ニッセイ静岡駅前ビル
- **名古屋営業所**  
名古屋市中区大須1-35-18 一光大須ビル
- **京都営業所**  
京都市中京区烏丸通御池下ル  
虎屋町577-2 太陽生命御池ビル
- **大阪営業所**  
大阪市西区新町1-13-3 四ツ橋SIビル
- **広島営業所**  
広島市中区大手町2-8-5  
大手町センタービル
- **福岡営業所**  
福岡市博多区博多駅東3-11-28  
博多サンシティビルII
- **鹿児島営業所**  
鹿児島市西千石町17-3  
太陽生命鹿児島第二ビル
- **北見サービスステーション**  
北見市高栄東町1-11-37
- **盛岡サービスステーション**  
盛岡市東新庄1-27-1

- ……本社
- ……営業所
- ……サービスステーション



- **郡山サービスステーション**  
郡山市桑野2-2-16 藤尾ビル
- **高崎サービスステーション**  
高崎市新保町41 クローバービル
- **松本サービスステーション**  
松本市島立302-5
- **新潟サービスステーション**  
新潟市出来島1-2-12 DNビル
- **金沢サービスステーション**  
金沢市鞍月5-181
- **兵庫サービスステーション**  
神戸市中央区東川崎町1-3-3
- **松山サービスステーション**  
松山市空港通1-3-16 土居田OKビル
- **熊本サービスステーション**  
熊本市水前寺1-20-22 水前寺センタービル
- **沖縄サービスステーション**  
浦添市伊祖1-1-21

グループ会社/主要事業所

- 1 株式会社マスコポーレーション  
東京都府中市栄町3-1-1
- 2 株式会社マーステクノサイエンス  
東京都新宿区新宿1-8-5  
新宿御苑室町ビル
- 3 株式会社ウインテック  
長野県埴科郡坂城町中之条1375-1
- 4 株式会社ホテルサンルート博多  
福岡市博多区博多駅中央街4-10
- 5 株式会社マースラインテック  
東京都新宿区新宿1-10-7
- 6 株式会社マースフロンティア  
東京都新宿区新宿1-10-7
- 7 株式会社マースネットワークス  
東京都新宿区新宿1-10-7
- 8 裾野技術センター  
裾野市伊豆島田818-8

- 9 R&Dセンター  
東京都新宿区新宿1-2-7  
あいおい損保・新宿東共同ビル
- 10 東富士工場  
御殿場市柴怒町961-45
- 11 テクノ流通センター  
御殿場市東中2-22-25

TOPICS 1

広がるRFID製品

健診ステーション

当社グループの株式会社マーステクノサイエンスが販売する健康診断支援システム「健診ステーション」が全国の健診センターに導入され始めました。

健診ステーションは何度も書込みができるリライトICカードを使用し、健診現場を簡単にデジタル化できるシステムです。検査機器からの計測データを自動でICカードに取り込むため、あってはならない記載ミスや記入漏れがなく人手不足の解消をサポートします。



ポイントサービスシステム

株式会社東京ドーム様は、当社が開発したプリンタ内蔵タッチパネル付きRFID対応マルチ機能端末「MTR-120P」及び「MTR-100」を導入し、本年3月24日よりサービスを開始いたしました。

MTR-120Pは、お会計時のポイント付与端末として東京ドームシティをはじめ国内200拠点以上に約300台が設置されています。また、MTR-100はアトラクション来場ポイントとアトラクション乗車ポイントを付与する端末として、東京ドームシティアトラクションズを中心に設置されています。



TOPICS 2

株式会社  
ホテルサンルート博多が  
楽天トラベルアワード  
2008最高賞受賞!

日本最大級のホテル予約サイトである楽天トラベルにおきまして、当社グループの株式会社ホテルサンルート博多が、九州・沖縄エリア約3,000施設の中から、2年連続して最も高い実績を残したホテルに与えられるダイヤモンド賞を受賞いたしました。

当ホテルはJR博多駅筑紫口(新幹線口)より徒歩1分のところにある立地の良さに加え、サンルートチェーン77店舗のフロント部門でのお客様評価で2004年度より連続1位に選ばれる程の高品質なサービスが支持され、多くのリピート客に利用されています。



連結貸借対照表(要旨)

科目	(単位:千円)	
	当連結会計年度末 平成21年 3月31日現在	前連結会計年度末 平成20年 3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	37,928,828	27,407,609
固定資産	16,784,067	15,207,920
有形固定資産	10,077,883	9,773,057
無形固定資産	125,826	108,382
投資その他の資産	6,580,357	5,326,480
<b>資産合計</b>	<b>54,712,896</b>	<b>42,615,530</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	13,896,301	8,112,100
固定負債	5,445,064	2,645,002
<b>負債合計</b>	<b>19,341,366</b>	<b>10,757,102</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	35,441,498	32,044,699
評価・換算差額等	△376,439	△466,805
少数株主持分	306,470	280,534
<b>純資産合計</b>	<b>35,371,529</b>	<b>31,858,427</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>54,712,896</b>	<b>42,615,530</b>

連結損益計算書(要旨)

科目	(単位:千円)	
	当連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	28,893,731	26,016,688
売上原価	14,152,960	13,689,804
売上総利益	14,740,770	12,326,884
販売費及び一般管理費	7,337,916	7,137,979
<b>営業利益</b>	<b>7,402,854</b>	<b>5,188,904</b>
営業外収益	199,544	204,695
営業外費用	4,972	12,014
<b>経常利益</b>	<b>7,597,425</b>	<b>5,381,586</b>
特別利益	32,630	127,533
特別損失	328,343	110,861
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>7,301,712</b>	<b>5,398,257</b>
法人税、住民税及び事業税	3,098,313	2,104,721
法人税等調整額	△145,073	148,010
少数株主利益又は少数株主損失(△)	29,018	△18,523
<b>当期純利益</b>	<b>4,319,454</b>	<b>3,164,048</b>

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	(単位:千円)	
	当連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,827,651</b>	<b>3,842,225</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>431,535</b>	<b>△1,645,289</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,018,879</b>	<b>△3,847,068</b>
<b>IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>	<b>4,240,307</b>	<b>△1,650,132</b>
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>10,024,171</b>	<b>11,674,303</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>14,264,479</b>	<b>10,024,171</b>

連結株主資本等変動計算書(要旨)

	当連結会計年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)				
	(単位:千円)				
	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	24,999,779	△9,261,010	32,044,699
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△922,318		△922,318
当期純利益			4,319,454		4,319,454
自己株式の取得				△336	△336
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>3,397,135</b>	<b>△336</b>	<b>3,396,799</b>
平成21年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	28,396,914	△9,261,346	35,441,498

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日 残高	△467,986	1,181	△466,805	280,534	31,858,427
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					△922,318
当期純利益					4,319,454
自己株式の取得					△336
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	85,190	5,175	90,365	25,936	116,302
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	<b>85,190</b>	<b>5,175</b>	<b>90,365</b>	<b>25,936</b>	<b>3,513,101</b>
平成21年3月31日 残高	△382,795	6,356	△376,439	306,470	35,371,529

(注) 繰延ヘッジ損益は、関係会社である昭和情報機器株式会社に対し、持分法を適用した結果、発生した項目であります。



単体貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当事業年度末	前事業年度末
	平成21年 3月31日現在	平成20年 3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	17,996,303	14,847,073
固定資産	15,649,772	14,681,077
有形固定資産	4,004,716	4,264,985
無形固定資産	57,555	91,823
投資その他の資産	11,587,500	10,324,269
<b>資産合計</b>	<b>33,646,075</b>	<b>29,528,150</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,531,478	2,877,275
固定負債	626,346	777,733
<b>負債合計</b>	<b>5,157,825</b>	<b>3,655,008</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	28,738,621	26,229,047
評価・換算差額等	△250,370	△355,904
<b>純資産合計</b>	<b>28,488,250</b>	<b>25,873,142</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>33,646,075</b>	<b>29,528,150</b>

単体損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当事業年度	前事業年度
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	22,887,190	18,655,409
売上原価	12,504,913	10,350,442
売上総利益	10,382,277	8,304,966
販売費及び一般管理費	6,351,095	6,301,810
<b>営業利益</b>	<b>4,031,182</b>	<b>2,003,155</b>
営業外収益	1,302,199	1,111,626
営業外費用	3,501	10,470
<b>経常利益</b>	<b>5,329,879</b>	<b>3,104,311</b>
特別利益	39,113	132,746
特別損失	315,656	7,872
<b>税引前当期純利益</b>	<b>5,053,337</b>	<b>3,229,185</b>
法人税、住民税及び事業税	1,678,642	837,195
法人税等調整額	△57,534	114,664
<b>当期純利益</b>	<b>3,432,228</b>	<b>2,277,325</b>

単体株主資本等変動計算書(要旨)

当事業年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金			利益剰余金合計
平成20年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	8,371,830	372,109	4,600,000	14,212,017	19,184,127	△9,261,010	26,229,047
事業年度中の変動額									
剰余金の配当						△922,318	△922,318		△922,318
当期純利益						3,432,228	3,432,228		3,432,228
自己株式の取得								△336	△336
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									
<b>事業年度中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>2,509,909</b>	<b>2,509,909</b>	<b>△336</b>	<b>2,509,573</b>
平成21年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	8,371,830	372,109	4,600,000	16,721,927	21,694,037	△9,261,346	28,738,621

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日 残高	△355,904	△355,904	25,873,142
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△922,318
当期純利益			3,432,228
自己株式の取得			△336
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	105,534	105,534	105,534
<b>事業年度中の変動額合計</b>	<b>105,534</b>	<b>105,534</b>	<b>2,615,108</b>
平成21年3月31日 残高	△250,370	△250,370	28,488,250

当社ホームページのご案内

当社ホームページにて、決算短信などの財務情報のほか、各種IR資料、株式情報、株主優待のご案内なども掲載しています。  
どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

URL: <http://www.mars-eng.co.jp>

株式の状況

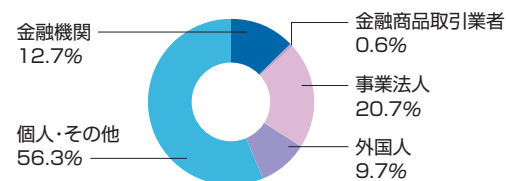
発行株式数及び株主数

発行可能株式総数	6,762万株
発行済株式の総数	2,272万株
株主数	4,882名

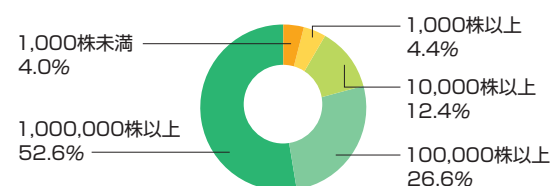
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
(株)イー・エムプランニング	4,521	24.51
松波廣和	1,134	6.15
松波香代子	1,028	5.57
松波明宏	1,000	5.42
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	856	4.64
みずほ信託 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	600	3.25
古宮重雄	490	2.66
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	482	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4G)	473	2.57
五味輝雄	450	2.44

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社概要

商号	株式会社マースエンジニアリング (Mars Engineering Corporation)
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号
設立年月日	昭和49年9月13日
会社の目的	1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売 2. ソフトウェアの開発 3. 電子機器の開発、企画並びに販売 4. ホテルの経営 5. 不動産の賃貸業 6. 建築工事の企画、設計並びにコンサルティング業務 7. 損害保険代理店業 8. 前各号に付帯する一切の業務
資本金	7,934,100,000円
就業者数	474名(男434名、女40名)

役員 (平成21年4月1日現在)

代表取締役会長	古宮重雄
代表取締役社長	松波明宏
取締役副社長	五味輝雄
取締役相談役	松波廣和
取締役	大矢俊寿
取締役	村上浩
常勤監査役	佐藤忠義
監査役	竹俣耕一
監査役	小林郁夫

執行役員 (平成21年4月1日現在)

営業本部長	秋山裕和
管理本部長兼経理部長	佐藤敏昭
ラインテック営業部長	杉内雄二
R&Dセンター長兼特許管理室長	佐野邦明
技術開発部長	井出平三郎
製造部長	渡邊廣美
品質保証部長	名取満郎



売上増加で規模拡大

新工場稼動に続き、マース、全国展開へ!



平成3年に完成した東富士第二工場及び研修所

昭和から平成へと時代が変わった平成元年、マースエンジニアリングは創業15周年を迎えました。この年には、静岡県御殿場市の東富士にある工場を米国の企業から取得し、念願の自社工場稼動にこぎつきました。この生産工場の順調な稼動により、本当の意味でのメーカーらしさをアピールできる喜びを味わえるようになったのです。

こうした中、平成3年には「チャレンジ100」スローガンを立てて年商100億円を達成する氣勢をあげ、社員一丸となって目標に取り組みました。

まず製品面では、景品自動払出機「CX-90」を開発・販売しました。この払出機の登場により、景品交換の完全無人化が可能となり、後に開発する卓上型とともに多くの店舗に導入されていきます。このため、工場をフル稼動しても生産が注文に追いつかない日が続き、東富士に第二工場を急遽建設することになり

ました。また、M-NETシステムを展示会で発表した際、遊技客に会員カードを発行して端玉を貯め込む貯玉システムが話題を呼び、後に貯玉第三者管理事業に参入するチャンスを得ることにつながっていきます。更にソフトの開発力とメンテナンスを組み合わせた顧客サポート体制も構築していきました。

製品やシステムを導入する店舗が増えるに伴い、マースは支店・営業所を次々と開設していき、北海道から沖縄まで拠点を設けて全国的な販売網を築き上げました。

このようにしっかりと組織・体制作りを固める一方で、2つの工場の稼動などで資金繰りに苦労していました。そこで資金調達の解決策の1つとしてだけでなく、社会的地位の向上も目指して、マースが本格的に株式の店頭公開準備を始めたのもこの頃でした。